

ひとは



社会福祉法人 ひとは福祉会
〒739-1203
広島県安芸高田市向原町長田1857番地
TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

「祝報」

日差しの延びるにしたがって、帰宅してももう一押し野良との付き合いが待っています。ひと汗かいてシャワーを浴びたのちの一杯は格別です。と言えは、お褒めの言葉ももらえるのですが、そうはなかなか問屋が卸さず、ついつい言い訳を考えて先送りにし、草たちに笑われているのが実情です。

先日、似島学園高等養護部からの付き合いですから、かれこれ50年近く付き合い合ってきたI夫妻が息子さんと彼女と一緒に来てくれました。秋には息子さんたちの結婚式をするという報告と、結婚式への出席依頼のためです。

I夫妻は二人とも学園の卒業生で、二人の結婚については橋渡し役を仰せつかり、その後も何やかやと関係が続いてきました。

彼が彼女との結婚を意識した時「ぼくはじがよめたいからかめじのあたまをかりる。かめじはみみがわるいからぼくがきこえるまでおしえる」という名文句を書いてこしました。そして、結婚式には勤めいた会社は臨時休業とし、社長以下全員祝福に駆けつけてくれました。

両親をはじめ周囲の助けを借りながら、必死に子育てに打ち勝ち、二人の子どもは大学を卒業後、それぞれに自分の選んだ道に。

娘さんは二児の母親になり、今度は息子さんがめでたしめでたしです。

ここまでの道のりは決して平坦だったわけではありません。むしろ想像しえぬ苦労も多かったらうと思います。

I夫妻にとって「や、はり子どもを授かってよかった」という思いが実感でしょう。当時は、優生保護法も強制不妊手術も現実の時代でした。

(理事長 寺尾文尚)



あたらしく入ったひとの仲間たち

①名前 ②所属 ③最近笑ったこと

①犬番有記
②ぴあ・くらぶ
③笑うとだめよ、あつらふー。で、次々と繰り出される体操、たわが子の笑顔とポーズに大笑いしました。

①高木さく子
②ひとは工房ひとは館
③雨上がりに山の方を見ると霧が出ていて、若葉と合わたりきれいな景色と、近所の方のゴミ焼きの煙でした!!

①新川乃重
②ひとは作業所
③一目惚れして買った服を、母もまったく同じものを買っていました。

①光川美紀
②ぴあ・くらぶ
③3歳の娘が、フリーズドライ(鼻を上げるテープ)をしているお父さんを見て「父さんが鼻クワにばんそうこうしたた」と言いかけて

①笹川琴未
②共同ホームひとは
③妹とじゃんけんをしながら、ずうとあいこが

①沖本英之
②共同ホームひとは
③仕事から帰ったとき、長男と次男を両腕に抱っこした時に二人とも笑っていて、つられて笑った。

お知らせ

理事長の寺尾文尚が2017年に発表した文章等を小冊子にまとめました。関係者の皆さんもご一読いただければと思います。ご希望の方は、ひとは福祉会(竹内)まで。0826-46-2960 送料込み500円でお届けします。

第17回ひとはまつり9/1(土)開催します!!

「しんどいは楽しい」

以前、このコーナーで大河ドラマ「直虎」の話をしたのですが、覚えておいで
 でしょうか(2017年3月号)。ドラマを、しっかり理解するために、大越さんは
 まずパソコンで登場人物や内容を検索、把握した上でドラマをみて私と話を
 するという流れなのですが、何とそれが1年間続いたのです。大越さんの、
 歴史好きでストーリーを理解しその面白さを他の人と共有したいという思いが、
 最後まで頑張る力になったのでしょね。検索に2時間以上かかり、その
 後は疲れ果ててぐったり... ご両親も心配されたそうです。それでもやり終えると、
 心地よい疲労感に包まれるとか。自分のやりたい事に打ち込める大越さんはすごい。
 もちろん今回の「西郷どん」も続きます。(就労センターあぶ 兼近 洋子)

「ウェルカム・トラ・マイルム」

最近、職員と一緒に自室の整理整頓をした高伏さんの「人を招ける
 部屋」を目標に、片付けを始めました。今では物の数が減り、さっぱりとした
 部屋になりましたが、それでも高伏さんのやる気は衰えず、掃除機を見購入し日々掃除
 を自主的にしています。以前、見学者が来られた際には、片付いた部屋を見てもらった
 ことも、励みになっているようです。

高伏さんへ☆ これからもきれいな部屋を維持していきましょうね!!

(共同ホームひとほ 久家 徹也)

「反対のことば」

先日、くらむぼんでアクアスに行く機会がありました。その際、松本くん
 は「先行とるけえね。バイバイ」と言い、ズンズンと先に行ってしまうことが何度か
 ありました。最初は「待てえ」と言っ呼びとめていたのですが、何度かそれが続き、
 中盤でまた松本くんが「先行くけえね。バイバイ」と言いました。今度は
 「わかった。バイバイ」とあえて松本くんと同調する言葉を使うと、さっと振り返り
 「え!? 何ぞ!」と慌てて戻ってきました。どうやらスタッフの反応を見て楽しんで
 いたようです。それ以降は、スタッフと一緒に歩く松本くんでした。

(くらむぼん 山崎 真志郎)

☆発行日について 前月の25日を印刷日とし順次配布しています。

「ひとのはな」

ある日、玄関でぐちゃぐちゃになっていた傘が、使いやすいように整理されていま
 した。「1ヶ月ももたんとさうけね」と話す中村看護師が「お客さんも来る所だから」と
 片付けてくださったのです。川本さんと一緒に玄関を掃除しながら、どう片付けたらいいの
 わからなかった私の悩みが解決しました。誰にとっても気持ちの良い玄関だなと感じら
 れるようにしたいです。(事務局 岡川 智美)

「出あい」

新年度が始まり、私はアグリサポートからささき亭へと全く違った環境で働くことにな
 りました。

約2ヶ月前、初めてささき亭での実習を行った時のことです。ささき亭で働いている
 きららの仲間が送迎車から降りて、中に入ってくるのを玄関で出迎えていました。その中の
 1人、高森さんの、私を見た瞬間の反応は、入ってきたのに引き返し、少しの間、戸の陰
 からのぞく、というものでした。そのような反応は初めてで、嬉しくもあり、私の緊張を
 和らげてくれる出あいでした。この日の出あいを忘れず、これからささき亭でたくさん
 学びを得たいと思います。(ささき亭 菅 凌太)

ごませんべい生産終了のお知らせ

皆さんに愛され、18年間製造を続けてきたごませんべいを、6月末をもって
 生産終了いたします。ご購入いただいた皆様には感謝の気持ちでいっぱい
 です。今後は洋菓子を中心として、新たなあぶを創っていきたいと思います。
 今後ともよろしくお願いたします。就労センターあぶ 一同

編集後記

前任の宇治さんから、ひとのはなの書き手を引き継いで今年で
 9年目に入りました。手書きの原稿を2枚、毎月書き続けることはなかなか
 大変なことで、他の業務との両立にも毎回悩みます。それでも、つうしんが
 生まれる瞬間に立ち会えることは楽しみで、書きながらワクワクもしています。
 (白井 くみこ)